

すごい話を聞きました

あるお寺に、ご門徒さんではない、七十代の男性から初めての電話がありました。「今度、母の一周忌のご法事をお願いしたいので、お参りに来てほしい」という内容でした。住職さんは「どうして、この寺に電話されたのですか？」と聞くと「インターネットで調べた」という理由でした。もう一つ「一年前に、お通夜とお葬式を勤めたと言うことは、どこかのお寺に所属されていたのではありませんか？それならば、そのお寺さんに、ご法事をお願いするのが自然ではありませか」と言うと、その男性は「この一年色々考えること、思うことがあり、お寺さんには了解をもらい宗派を変えることにしました。母の死がきっかけで、仏教の勉強を始めました。最初は、所属していたお寺の宗派の教えの勉強をしました。が、この教えでは、私は救われたい、とわかり次々と宗派の門をたたきました。最終的に、浄土真宗のお話を聞いて、何もできない私に、仏さまの方から南無阿彌陀仏となって、私の所に来てくださり、私をいただき取り、浄土へと導いてくださる。この教えなら安心できる。これからは、浄土真宗の作法と教えに従い、母の法事、そして、私も生きていきたい・・・」と話されたのです。

